

# 論語を道徳の内容に位置づけ、論語の理解を深めると共に 生活の中に活かす指導法の研究

～論語の教材化（多久学）をめざして～

多久市立中部小学校

教諭 松尾 久一(代表者)

## 1 主題設定の理由

多久市では平成21年度に「多久学」の構想案が出された。これは多久市の人、もの、ことを学ぶことによって、多久を知り、好きになり、さらには多久をよくしていこうと考えることができる人材を育てていこうとするものである。また、多久市では平成25年度、小中一貫校開設が予定されている。この新しい環境でのスタートや結びつきをよりよいものにするためにも、これから「多久学」を学ぶことにより、多久のよさを再認識し、誇りと希望をもった教育活動ができるもの考えられる。

多久は「多久のスズメは論語をさえずる」といわれるように、昔から学問が盛んな地で「丹邱の里」「文教の地」と称されてきた。現在も、論語カルタや腰鼓、積菜の舞、花棒舞など地域の伝統として代々受け継がれている。しかし、『論語大学』第一集「開講にあたって」の文中には「一略一 しかし、その誇りもいつの間にか多久から姿を消してしまった。一略一 多久に来たら、みんな親切じゃった。みんな穏やかでやさしく、礼儀正しく、とても気が安らかだった。そんな郷土がかつてはあったはず。一略一」とある。

本校においても、これまで論語カルタや腰鼓に取り組み、今では学校の伝統として定着してきた。また道徳教育は道徳の時間を核として、学校教育全体の中で実践を重ねてきている。しかし、保護者・児童・職員のアンケートにおいては、「言葉遣い」や「礼儀正しい行い」「思いやりのある行動」などが、改善したい項目として毎年指摘されている実態である。

論語には人としての生き方やあるべき姿が短い言葉で述べられており、児童らは論語カルタを通じて論語への親しみを感じている。そこで論語への理解を一層深め、道徳教育と結びつけることで道徳的実践力の育成を図りたいと考え、この主題を設定した。

※丹邱の里…仙人が住むような風光明媚で、住んでいる人々の心も美しい平和なふるさとのこと。茂文公はこんな理想郷を目指して聖廟や東原座舎を建てられた。

※孔子の里…多久聖廟に孔子をまつり「多久の雀は論語をさえずる」といううわさされるほど論語が盛んで孔子様の教えがよく広まっているふるさとのこと。

※文教の地…東原座舎や聖廟のもとで多久は昔から学問がとても盛んで、今でも学問や教育を大切にしているところということ。

## 2 研究の目標

論語を道徳や学校教育の中に取り入れた教育活動を行うことによって、道徳的実践力の育成を図る。

## 3 研究の内容

### (1) 研究の内容

ア 論語を道徳の内容に位置づけた授業の研究と実践を行う。

イ 特別活動や他の活動についての論語との結びつきを図り、それを意識した実践を行う。論語カルタ大会や論語名人などへの積極的な取り組みを進める。

ウ 校内環境の充実

## 4 研究の実際

### (1) 論語と道徳の内容との関連

ア① 道徳の内容に論語（論語カルタ番号付き）を関連付ける。

【小学校第5学年及び第6学年】

※論語カルタの番号はあいうえお順 ●逆の意味

1 主として自分自身に関すること	
思慮・反省，節度・節制 (1) 生活習慣の大切さを知り，自分の生活を見直し，節度を守り節制に心掛ける。 【論語カルタ】 10 26 43 48 50 61 67 89 97 99	
希望，勇気，不撓不屈 (2) より高い目標を立て，希望と勇気を持ってくじけないで努力する。 【論語カルタ】 6 13 15 18 30 94 46 56 67 68 72 75 81 91 97	●57
自由・規律 (3) 自由を大切にし，自律的で責任のある行動をする。 【論語カルタ】 37	
誠実・明朗 (4) 誠実に，明るい心で楽しく生活する。 【論語カルタ】 10 61 64 4 (3・4年)	●60 ●70
創意・進取 (5) 真理を大切にし，進んで新しいものを求め，工夫して生活をよりよくする。 【論語カルタ】 9 56 59 76	
向上心，個性伸長 (6) 自分の特徴を知って，悪い所を改めよい所を積極的に伸ばす。 【論語カルタ】 4 6 9 12 18 30 46 50 59 68 81 94	

2 主として他の人とのかかわりに関すること	
礼儀 (1) 時と場をわきまえて，礼儀正しく真心をもって接する。 【論語カルタ】 16 23 92	
思いやり・親切 (2) だれに対しても思いやりの心を持ち，相手の立場に立って親切にする。 【論語カルタ】 14 17 41 44 77 92 95 98	
信頼・友情，助け合い (3) 互いに信頼し，学び合って友情を深め，男女仲良く協力し助け合う。 【論語カルタ】 11 22 49 63 65 92	●42 ●80
寛容・謙虚 (4) 謙虚な心を持ち，広い心で自分と異なる意見や立場を大切にする。 【論語カルタ】 3 7 8 29 74 92	
尊敬・感謝 (5) 日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し，それにこたえる。 【論語カルタ】 30	

### 3 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること

#### 生命尊重

(1) 生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。

【論語カルタ】

#### 自然愛，環境保全

(2) 自然の偉大さを知り、自然環境を大切にす。

【論語カルタ】

55 93

#### 敬けん

(3) 美しいものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつ。

【論語カルタ】

62

### 4 主として集団や社会とのかかわりに関すること

#### 公德心，規則の尊重，権利・義務

(1) 公德心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切にし進んで義務を果たす。

【論語カルタ】

24 37 50 87

#### 公正・公平，正義

(2) だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく公正，公平にし，正義の実現に努める。

【論語カルタ】

19 44

#### 役割の自覚と責任

(3) 身近な集団に進んで参加し，自分の役割を自覚し，協力して主体的に責任を果たす。

【論語カルタ】

38

#### 勤労・奉仕

(4) 働くことの意義を理解し，社会に奉仕する喜びを知って公共のために役立つことをする。

【論語カルタ】

21 38 95

●78

#### 家族愛

(5) 父母，祖父母を敬愛し，家族の幸せを求めて，進んで役に立つことをする。

【論語カルタ】

14

#### 愛校心

(6) 先生や学校の人々への敬愛を深め，みんなで協力し合いよりよい校風をつくる。

【論語カルタ】

2

#### 郷土愛，愛国心

(7) 郷土や我が国の伝統と文化を大切にし，先人の努力を知り，郷土や国を愛する心をもつ。

【論語カルタ】

2 53

#### 国際理解・親善

(8) 外国の人々や文化を大切にす心もち，日本人として自覚をもって世界の人々と親善に努める。

【論語カルタ】

論語カルタ番号付き

1 朝に道を聞けば	夕に死すとも可なり
2 迹を踏まず	亦室に入らず
3 欺くこと勿れ	而して之を犯せ
4 過ちては則ち改むるに	憚ることなかれ
5 未だ生を知らず	焉んぞ死を知らん
6 行くに	徑に由らず
7 怒りを	遷さず
8 威あれど	猛からず
9 疑わしきには	間を思ふ
10 内に省みて疚しからずんば	それ何をか憂え何をか懼れん
11 益者三友	損者三友
12 絵のことは	素きを後にす
13 思うて学ばざれば	則ち殆し
14 終を慎み	遠きを追う
15 教え有りて	類無し
16 己に克ちて礼に復るを	仁と為す
17 己の欲せざる所は	人に施すこと勿れ
18 学は及ばざる如くするも	猶之を失わんことを恐る
19 義を見て為ざるは	勇なきなり
20 驥はその力を称せず	其の徳を称するなり
21 君子は	器ならず
22 君子は和して	同ぜず
23 君子は食を終わるの間も	仁に違ふこと無し
24 君子は義に喻り	小人は利に喻る
25 位なきを患えず	立つ所以を患う
26 君子は徳を懐い	小人は土を懐う
27 君子は言訥にして	行い敏なると欲す
28 君子はその言の其の行いに	過ぐるを恥ず
29 君子は坦かに蕩蕩たり	小人は永えに戚戚たり
30 賢を見ては	斉しからんことを思う
31 言ある者	必しも徳あらず
32 巧言令色	鮮なし仁
33 剛毅朴訥	仁に近し
34 是れ聞なり	達に非ざるなり
35 之を知るを知るを為し	知らざるを知らずと為す
36 之を好む者	之を樂しむ者に如かず
37 これを賞すといえども	竊まざらん
38 之に居りて倦むことなく	之を行ふに忠を以てす
39 三人行えば	必ず我が師あり
40 詩に興り	礼に立ち樂に成る
41 仁を問う子日わく	人を愛す
42 小人は同じて	和せず
43 小忍ばざれば	則ち大謀を乱る
44 仁に志せば	悪むこと無きなり
45 辞は	達するのみ
46 十有五にして	学に志す
47 過ぎたるは	猶及ばざるがごとし
48 性相近きなり	習相遠きなり
49 備わらんことを	一人に求むることなかれ
50 その身を正しくすること能わずん	人を正しくすること如何せん

51	其の善かざる者にして	之を改む
52	樂しみて淫せず	哀しみて傷らず
53	近き者説べば	遠き者來たる
54	中庸の徳たるや	其れ至れるかな
55	知者は水を樂しむ	仁者は山を樂しむ
56	知者は	惑わず
57	力足らざる者は	中道にして廢す
58	知を問う子日わく	人を知る
59	仕えて優なれば	則ち學ぶ
60	罪を天に獲れば	禱る所なし
61	天を怨みず	人を尤めず
62	天何をか言わんや	四時行われ百物生ず
63	朋有り遠方より來たる	亦樂しからずや
64	徳ある者は	必ず言あり
65	徳は孤ならず	必ず隣有り
66	遠き慮り無ければ	必ず近き憂い有り
67	歳寒うして然る後に	松柏の凋むるを知る
68	苗にして	秀でざる者あり
69	任重くして	道遠し
70	佞人は	殆し
71	函らざりき	樂を為すことの斯に至らんとは
72	秀でて	美らざる者あり
73	人の己を知らざるを患えず	其の不能なるを患うるなり
74	敏にして學を好み	下問を恥じず
75	悱せずんば	発せず
76	故きを温ねて	新しきを知る
77	夫子の道は	忠恕のみ
78	不義にして富み且つ貴きは	我に於いて浮雲の如し
79	便佞を	友とするは損なり
80	朋友しばしばすれば	斯に疎んぜらる
81	學びて時に之を習う	亦説はしからずや
82	先ず行う	其の言は而る後に之に従う
83	貧しくして怨む無きは難く	富みて驕る無きは易し
84	道に志し	徳に抛り仁に依り芸に遊ぶ
85	躬自ら厚くして責むれば	則ち怨み遠ざかる
86	紫の朱を	奪うを惡む
87	命と與にし	仁と與にす
88	黙して之を識し	學びて厭わず
89	約を以て	之を失う者は鮮し
90	逝く者は斯の如きか	昼夜をおかず
91	勇者は	懼れず
92	善く人と交わる	久しくしてこれを敬す
93	弋して	宿を射ず
94	來者の今に	如からざるを知らんや
95	利に放りて行えば	多し
96	誅に日う	上下の神祇にいのる
97	礼を知らざれば	以て立つこと無きなり
98	勞して	怨みず
99	吾日に我が身を	三省す
100	吾が道は一以つて	之を貫く

ア②各学年の道徳の年間計画

① 第1学年		学年重点目標	1-(1)	3-(1)	4-(1)		
月	週	主題名	指導内容	資料名	出典	論語 関連	
4	2	たのしいがっこう	愛校心	4-(3)	たのしいがっこう	文溪	
	3	みぢかなしぜん	自然愛	3-(1)	ふしぎなたね	文溪	
	4	やくそくやきまりをまもるころ	公德心	4-(1)	いいこはどのこ	学研	
5	1	あいてのことをかながえて	信頼・友情・助け合い	2-(3)	あめふり	光村	
	2	きもちのよいあいさつ	礼儀	2-(1)	おおきなこえでいえるといいな	学図	○
	3	ほんとうのことを	誠実・明朗	1-(4)	きいろいくれよん	学研	
	4	いのち	生命尊重	3-(2)	おおきくなあれ	光村	
6	1	たいせつないのち	生命尊重	3-(2)	しぜんのいのち	学研	
	2	ぼくのしごと	勤勉・努力	1-(2)	こくぼんがにっこりするかな	光村	
	3	こまっているおともだちに	信頼・友情・助け合い	2-(3)	くりのみ	学研	
	4	どこでやめるのか	節度・節制・自立	1-(1)	かぼちゃのつる	学図	○
7	1	すがすがしいころ	敬虔	3-(3)	七つのほし	学研	
	2	けんこうなからだ	誠実・明朗	1-(4)	ごろごろこんた	学研	
9	1	かぞくにかんしゃ	家族愛	4-(2)	おかあさんのつくったぼうし	文溪	
	2	しんせつにするよろこび	思いやり・親切	2-(2)	おばあちゃん	学研	
	3	あきらめないで	勤勉・努力	1-(2)	がんばれホイッ	文溪	
10	1	ころをつなぐあいさつ	礼儀	2-(1)	かめさんありがとう	学研	
	2	みんなでつかうもの	公德心・規則の尊重	4-(1)	きいろいベンチ	文溪	
	3	いきものにやさしくしよう	自然愛	3-(1)	ごめんね、みなみ	学研	
	4	たのしいがっきゅうに	愛校心	4-(3)	めだかのめぐ	学研	
11	1	きまりをまもろう	公德心・規則の尊重	4-(1)	こまったロボボン	光村	
	2	よいとおもうことを	勇気	1-(3)	よりみち	文溪	
	3	しょうじきなころ	誠実・明朗	1-(4)	ひつじかいのいたずら	文溪	
	4	やさしいきもちで	自然愛・動植物愛護	3-(1)	コスモスのうた	光村	
12	1	ちいさないのち	生命尊重	3-(2)	ちいさなふとん	光村	
	2	くじけないころ	勤勉・努力	1-(2)	うしろまわし	光村	
	3	ほんとうのともだち	信頼・友情・助け合い	2-(3)	二わのことり	学図	○
1	1	じぶんのちからで	節度・節制・自立	1-(1)	しまのおさるたち	学研	
	2	おせわになっているひと	尊敬・感謝	2-(4)	がっこうのようむいさん	文溪	
	3	だいすきなぼくの町	郷土愛	4-(4)	およげ、ジャンボこいのぼり	学研	
2	1	ゆうき	勇気	1-(3)	やめなさい	光村	
	2	わがままとしんせつ	思いやり・親切	2-(2)	はしのうえのおおかみ	学図	○
	3	おとうさんありがとう	誠実・明朗	1-(4)	おとうさんのカレーライス	学研	
3	1	おせわになっているひと	家族愛	4-(2)	わたしのおかあさん	光村	
	2	あいてのために	思いやり・親切	2-(2)	ねがいごとのあかいふね	文溪	

◎「論語」を位置づけた道徳の内容

主題名	指導内容	資料名
活用した論語		
きもちのよいあいさつ	礼儀	2-(1) おおきなこえでいえるといいな
<b>30 賢を見ては斉しからんことを思う</b>		
どこでやめるのか	節度・節制・自立	1-(1) かぼちゃのつる
<b>17 己の欲せざる所は人に施すこと勿れ</b>		
ほんとうのともだち	信頼・友情・助け合い	2-(3) 二わのことり
<b>11 益者三友 損者三友</b>		
わがままとしんせつ	思いやり・親切	2-(2) はしのうえのおおかみ
<b>19 義を見て為ざるは勇なきなり</b>		

② 第2学年

道徳年間指導計画

学年重点目標 1-(1) 3-(2) 4-(1)

月	週	主題名	指導内容	資料名	出典	論語関連
2	2	あいさつで明るい生活	礼儀	2-(1) あいさつがきれいな王さま	学研	
	3	ありがとうの気持ち	思いやり・親切	2-(2) ありがとうの手紙		
	4	しょうじきなこころ	誠実・明朗	1-(4) 子だぬきポン	学研	
	5	1 考えて行動しよう	節度・節制・自立	1-(1) あとでする	光村	
5	2	ふわふわことば・ちくちくことば	信頼・友情・助け合い	2-(3) ブランコ	光村	○
	3	本当に大切なものは	家族愛	4-(3) とうさんがつくったこはせかい	学研	
	4	くじけずどりよくする	勤勉・努力	1-(2) がんばれポポ	学研	○
	6	1 かなしませてごめんね	生命尊重	3-(1) ファーブルの子どもじだい	学研	
6	2	じぶんのことはじぶんで	節度・節制・自立	1-(1) 子りすのピータン	紙芝居	
	3	おたがいにありがとう	信頼・友情・助け合い	2-(3) ともだち先生	学研	
	4	いいところさがし	生命尊重	3-(2) いいところさがし	わたし・出会い・発見	
	7	1 一人一人のちがい	生命尊重	3-(2) 手ってあたたかい	エンカウンター	
7	2	せんそうって	生命尊重	3-(2) さだこのねがい	紙芝居	
	9	1 あい手のかんがえて	信頼・友情・助け合い	2-(3) きみのせいだぞ	光村	
	2	おねわなっているかたのかんしゃしよう	尊敬・感謝	2-(4) きょうはどうしたのかな	光村	
10	3	くじけない心	勤勉・努力	1-(2) ドレミの練習	紙芝居	○
	1	一人一人のちがい	自然愛・動物愛護	3-(2) わたしのランドセル	じえんだあふりいBOX	
	2	きまりをまもる	公徳心・規則の尊重	4-(1) でんしゃの中で	学研	
	3	いきものにやさしくする心	自然愛・動物愛護	3-(2) くじらのハンフリー	学研	
10	4	いつもどうもありがとう	愛校心	4-(4) くろいわのおじさん	学研	
	1	きまりを守って	公徳心・規則の尊重	4-(1) うさこどもんきちのしっぱい	光村	
	2	ゆうきをもってたちあがろう	勇気	1-(3) どうぶつ村のさいばん	紙芝居	○
	3	こころでかんじるすっぱさあまさ	誠実・明朗	1-(4) みかんの木の寺	学研	
10	4	わたしのたんじょう	生命尊重	3-(2) わたしのたんじょう1		
	1	わたしのたんじょう	生命尊重	3-(2) わたしのたんじょう2		
	2	みんなのやくそく	公徳心・規則の尊重	4-(1) あぶら山	学研	
	3	うつくしい心	敬虔	3-(3) しあわせの王子	学研	
10	1	あつていちがいなくていちがい	生命尊重	3-(2) 黄色いキャンデー	じえんだあふりいBOX	
	2	おねわなっているかたのかんしゃしよう	感謝	2-(4) おばあちゃんのはたけしごと	光村	
	3	きょう土のたからものをまもる	郷土愛	4-(4) ほたるがすむ町	学研	
10	2	ほんとうのゆうき	勇気	1-(3) もちもちの木	学研	○
	2	やさしいきもちで	思いやり・親切	2-(2) ぐみの木とことり	光村	
	3	よわい心とつよい心	誠実・明朗	1-(4) シールのせいじゃない	学研	
10	3	1 おかあさんありがとう	感謝	2-(4) きつねとぶどう	紙芝居	
	2	できるようになったこと	誠実・明朗	1-(4) せいちょうしたこと	わたし・出会い・発見	

◎ 論語を位置つけた道徳の内容

主題名	指導内容	資料名
ふわふわことば・ちくちくことば	信頼・友情・助け合い 2-(3)	ブランコ
<b>17 己の欲せざるところは人に施すことなかれ</b>		
くじけずどりよくする	勤勉・努力 1-(2)	がんばれポポ
<b>75 排せずんば発せず</b>		
くじけない心	勤勉・努力 1-(2)	ドレミの練習
<b>57 力足らざる者は中道にして廃す</b>		
ゆうきをもってたちあがろう	勇気 1-(3)	どうぶつ村のさいばん
<b>19 義を見て為ざるは勇なきなり</b>		
ほんとうのゆうき	勇気 1-(3)	もちもちの木
<b>19 義を見て為ざるは勇なきなり</b>		

③ 第3学年 道徳年間指導計画

		学年重点目標					
		1-(3)		2-(3)		4-(1)	
月	週	主題名	指導内容	資料名	出典	論語 関連	
4	2	強い心 正しい心	勇気	1-(3) よわむし太郎	学図		
	3	規則正しい生活を	思慮・反省、節度・節制、自立	1-(1) 目ざまし時計	学図		
	4	心温まるひとこと	礼儀	2-(1) ことばのまほう	学図		
	5	1 家族の一員として	家族愛	4-(3) おかあさんの仕事にちようせん	光村		
5	2	こまっている人がいたら	思いやり・親切	2-(2) 町の人が作ったあいの手すり	学図	○	
	3	みんなでつかうもの	公德心、規則の尊重	4-(1) 水のみ場			
	4	明るい心で元気よく	誠実・明朗	1-(4) あいさつは大きな声で	学図		
	6	1 学きゅうや学校をあいする心	愛校心	4-(4) なかよしポスト	学研		
6	2	友だちのよいところを見つけよう	友情・信頼・助け合い	2-(3) 貝がら	学図		
	3	美しい自然	自然愛、動植物愛護	3-(2) でんでんむし	学図		
	4	すなおな心	誠実・明朗	1-(4) びしょぬれの本	学図		
	7	1 なぜ大人は働くの？	勤労・奉仕	4-(2) 父がおしえてくれたもの	学図		
7	2	さいごまでやりぬく心	勤勉・努力	1-(2) ぼくらは小さななかにはかせ	学図	○	
	9	1 欲ばりな心	思慮・反省、節度・節制、自	1-(1) 金色の魚	学図		
10	2	友という字のなりたちは？	信頼・友情、助け合い	2-(3) 同じなかまだから	学図		
	3	正しいことは思いきって	勇気	1-(3) あと、ひとこと	学研		
	1	1 生命の素晴らしさ	生命尊重	3-(1) 手のひらを太陽に	学図		
	2	きまりを守るからなかよく生活できる	公德心、規則の尊重	4-(1) ぼくが見てるよ	学図		
10	3	人の心の美しさにふれよう	敬虔	3-(3) 花さき山	学図		
	4	限界をつくらない 上へ、上へ	勤勉・努力	1-(2) 俊輔に学ぼう！	学図	○	
	1	1 ひたむきな心	個性伸長	1-(5) 清のゆめ	学図		
	2	2 人の心を感じとる	思いやり・親切	2-(2) さしのべた右うで	学図	○	
11	3	3 友だちのよさを感じて仲良くなるよう	信頼・友情、助け合い	2-(3) きつとわかってくれる	学図		
	4	4 人の役に立つ	勤労・奉仕	4-(2) みんなのわき水	学図		
	1	1 祖父母への感謝	尊敬・感謝	2-(4) たんじょう会のおにぎり	学図		
	2	2 わたしたちのできることは	思いやり・親切	2-(2) 耳をおいてでかけられますか	学図		
12	3	3 がまんすること	思慮・反省、節度・節制、自立	1-(1) よくばり小がらす	学図		
	1	1 ゆう気をだして	勇気	1-(4) 心ないことば	学研	○	
	2	2 赤ちゃんが生まれるまで	生命尊重	3-(1) おばちゃん、がんばれ	学研		
	3	3 きまりはなんのために	公德心、規則の尊重	4-(1) ポケットのあきかん	学研		
2	1	1 親友ならどうする？	信頼・友情、助け合い	2-(3) 絵はがき切手	学研		
	2	2 ふるさとのよさ	郷土愛	4-(5) 茶つみ	学図		
	3	3 自国の文化を誇りに思う心	愛国心、国際理解	4-(6) のりのおにぎり	学図		
3	1	1 家族のために役立つ喜び	家族愛	4-(3) ブラッドレーのせいきゅう書	学図		
	2	2 うつくしいものを大切に	敬虔	3-(3) きよ年の木	光村		

◎ 「論語」を位置づけた道徳の内容

主題名	指導内容	資料名
こまっている人がいたら	思いやり・親切	2-(2) 町の人が作ったあいの手すり
<b>19 義を見て為さざるは 勇なきなり</b>		
さいごまでやりぬく心	勤勉・努力	1-(2) ぼくらは小さななかにはかせ
<b>75 忤せずんば発せず</b>		
限界をつくらない上へ、上へ	勤勉・努力	1-(2) 俊輔に学ぼう！
<b>94 来者の今に如かざるを知らんや 59 仕えて優なれば則ち学ぶ</b>		
人の心を感じとる	思いやり・親切	2-(2) さしのべた右うで
<b>17 己の欲せざる所は人に施すこと勿れ</b>		
ゆう気をだして	勇気	1-(4) 心ないことば
<b>19 義を見て為さざるは 勇なきなり</b>		



④ 第4学年 道徳年間指導計画 学年重点目標 1-(3) 2-(3) 4-(1)

月週	主題名	指導内容	資料名	出典	論語 関連
4	2 目標をもってねばり強く	勤勉・努力	1-(2)	あしたにトライ 成田真由美	学図 ○
	3 生命の尊さ	生命尊重	3-(1)	火の鳥	学図
	4 自分にできること	家族愛	4-(3)	ベッドの上の花ふぶき	学図
5	1 心のこもった礼儀	礼儀	2-(1)	かんとくのことば	学図
	2 みんなが気持ちよく	公德心, 規則の尊重	4-(1)	雨のバスでいりゆう所	学図
	3 自然となかよく	自然愛, 動植物愛護	3-(2)	花よりも小さく	学図
	4 失敗しても正直に	誠実・明朗	1-(4)	われた花びん	学図 ○
6	1 相手の気持ち	思いやり・親切	2-(2)	ともに生きたい	学図 ○
	2 気持ちのよい生活	臆・躊 躅 齟 齬 自立	1-(1)	この水着で	学図
	3 友だちを理解しよう	信頼・友情, 助け合い	2-(3)	ないた赤おに	学図
	4 進んではたらく	勤労・奉仕	4-(2)	全校せいそう日	学図
7	1 長所を生かして	個性尊重	1-(5)	ユキちゃん	学図
	2 よく考えて行動する	臆・躊 躅 齟 齬 自立	1-(1)	せっかく考えたのに	学図
9	1 みんなのことを考えて	公德心, 規則の尊重	4-(1)	早いもの勝ち	学図 ○
	2 目標をもってチャレンジしよう	勤勉・努力	1-(2)	できるようになりたい	学図
	3 気づいたら	公德心, 規則の尊重	4-(1)	にじ色のふん水	学図
10	1 相手の気持ちを考える	思いやり・親切	2-(2)	何かがちがう	学図
	2 本当の友だち	信頼・友情, 助け合い	2-(3)	絵葉書と切手	学図 ○
	3 清らかな心を感じ取る	敬けん	3-(3)	ひさの星	学図
	4 自分のはまづく向き合う	誠実・明朗	1-(4)	なしの実	学図
11	1 家族っていいな	家族愛	4-(3)	祭りだ みこしだ	学図
	2 進んで働く	勤労・奉仕	4-(2)	引っこしの手伝い	学図
	3 かけがえのない命	生命尊重	3-(1)	電池が切れるまで	学図
	4 差別に気づく	勇気	1-(3)	クレヨンぬすんだんじやねえ	解放
12	1 日本人であること	愛国心, 国際理解	4-(6)	日本人としてたいせつなもの	学図
	2 お年寄りへの配慮	尊敬・感謝	2-(4)	おばあちゃん 長生きしてね	学図
	3 自分のことは自分で	臆・躊 躅 齟 齬 自立	1-(1)	森のネムネムおじさん	学図
1	1 ぼくは生きられた	生命尊重	3-(1)	ありがとう	学図 ○
	2 かけがえのない命だから	自然愛, 動植物愛護	3-(2)	さよなら, ラッキー君	学図
	3 心から心へ	思いやり・親切	2-(2)	心を結ぶ1本のロープ	学図
2	1 柵を認め 大切にする御知恵	礼儀	2-(1)	生きた礼ぎ	学図
	2 いのちどころ	敬けん	3-(3)	いのちのおはなし	学図
	3 信頼し合う友だち	信頼・友情, 助け合い	2-(3)	いのりの手	学図
3	1 学校よさに目を向けて	愛校心	4-(3)	学校自まん集会	学図
	2 わたしのふるさと	郷土愛	4-(5)	ふるさとのさくら	学図

◎「論語」を位置づけた道徳の内容

主題名	指導内容	資料名
目標をもってねばり強く	勤勉・努力	1-(2) あしたにトライ 成田真由美
6 行くに徑に由らず		
失敗しても正直に	誠実・明朗	1-(4) われた花びん
4 過ちては則ち改むるに憚ることなかれ		
相手の気持ち	思いやり・親切	2-(2) とともに生きたい
4 1 仁を問う子曰わく人を愛す		
本当の友だち	信頼・友情, 助け合い	2-(3) 絵葉書と切手
2 2 君子は和して同ぜず		
ぼくは生きられた	生命尊重	3-(1) ありがとう
5 未だ生を知らず焉んぞ死を知らん		

⑤ 第5学年 道徳年間指導計画 学年重点目標 1-(2) 2-(5) 4-(3)

月	週	主題名	指導内容	資料名	出典	論語 関連	
4	2	だれもが大切な人	公正・公平・正義	4-(2)	わたしはひろがる	学研	
	3	心を表すことば	礼儀	2-(1)	気持ちとことば	文部省	○
	4	自分らしく生きる	希望・勇気・不撓不屈	1-(2)	夢をあきらめないで	学研	○
5	1	家族の幸せ	家族愛	4-(5)	あべこべ家族	NHK TV	
	2	自分らしさを発揮しよう	向上心・個性伸長	1-(6)	ドラえものの声	学研	
	3	郷土を愛する心	郷土愛・愛国心	4-(7)	わたしの心のアルプス	学研	
	4	友情と信頼	友情・信頼・助け合い	2-(3)	言えないさよなら	NHK TV	
6	1	協力と責任	役割と責任の自覚	4-(3)	おまかせプレゼント	NHK TV	
	2	本当の美しさ	敬虔	3-(3)	美しいお面	学研	
	3	みんなのために	勤労・社会奉仕	4-(4)	ふくらんだリュックサック	文溪	
	4	郷土や国を愛する心	郷土愛・愛国心	4-(7)	故郷の風	NHK TV	
7	1	自然環境を大切に	自然愛・環境保全	3-(1)	一ふみ十年	学研	
	2	働くことの意義	勤労・社会奉仕	4-(4)	一日座長	学研	○
9	1	やるべき仕事	役割と責任の自覚	4-(3)	取り返しのつかない一日	学研	
	2	自然環境を大切に	自然愛・環境保全	3-(1)	大空を舞う日	NHK TV	
	3	不正に立ち向かう	公平・公正・正義	4-(3)	粘土のお面	光文	○
10	1	思いやりの心で	思いやり・親切	2-(2)	折り紙の花束	学研	
	2	感謝の心	尊敬・感謝	2-(5)	おじいさんのあたたかな目	学研	
	3	本当の友情	希望・勇気・不撓不屈	1-(2)	われた花びん	M.D	○
	4	本当の友情	友情・信頼・助け合い	2-(3)	われた花びん	M.D	○
11	1	動植物と共に生きる	自然愛・環境保全	3-(1)	消えゆく生きものたち	学研	
	2	私たちの学校	愛校心	4-(6)	三十周年の記念行事	光文	
	3	よいところを伸ばそう	向上心・個性伸長	1-(6)	日本の「まんがの神様」	学研	
	4	誠実な心で	誠実・明朗	1-(4)	手品師	学研	
12	1	相手の立場を考えて	公平・公正・正義	4-(2)		NHK TV	○
	2	よく考えて行動する	思慮・反省、節度	1-(1)	愛する奈々ちゃんへ	学研	
	3	命を守る	生命尊重	3-(2)	煙にころされた精一くん	なかま	
1	1	社会のためにできること	勤労・社会奉仕	4-(4)	小さな手から	学研	
	2	感謝の気持ち	尊敬・感謝	2-(5)	みんなのために	光文	
	3	国境を越えて	国際理解・親善	4-(8)	ペルーは立っている	学研	
2	1	かけがえのない命	生命尊重	3-(2)	手のひらのかぎ	学研	
	2	公共物を大切に	公德心・規則の尊重	4-(1)	まいごのカナリア号	学研	
	3	相手の立場を考えて	慣用・謙虚	2-(4)	すれちがい	学研	
3	1	日本の文化を考える	郷土愛・愛国心	4-(7)	もう一つの塔	学研	
	2	支え合い	尊敬・感謝	2-(5)	明日への晴舞台	NHK TV	

◎「論語」を位置づけた道徳の内容

MD:モラルジレンマ

主 題 名	指 導 内 容	資 料 名
心を表すことば	礼儀	2-(1) 気持ちとことば
<b>97 礼を知らざれば以て立つこと無きなり</b>		
自分らしく生きる	希望・勇気・不撓不屈	1-(2) 夢をあきらめないで
<b>7 5 排せずんば発せず</b>		
働くことの意義	勤労・社会奉仕	4-(4) 一日座長
<b>98 労して怨みず</b>		
不正に立ち向かう	公平・公正・正義	4-(3) 粘土のお面
<b>9 1 勇者は懼れず</b>		
本当の友情	希望・勇気・不撓不屈	1-(2) われた花びん
<b>1 9 義を見て為ざるは勇なきなり</b>		

⑥ 第6学年

道徳年間指導計画

学年重点目標 1-(1) 2-(5) 4-(2)

月	週	主題名	指導内容	資料名	出典	論語 関連	
4	2	責任を果たそう	役割の責任と自覚	4-(1)	幸せをおくるリーダーに	東書	
	3	思いやりの心	思いやり・親切	2-(2)	心に通じた「どうぞ」の一言	東書	
	4	広い心で	寛容・謙虚	2-(4)	君ならどうする	光村	
5	1	自分さえよければいいの	公正・公平・正義	4-(2)	いじめられています		○
	2	協力	友情・信頼・助け合い	2-(3)	わたしたちのお店やさん	遊戯社	
	3	支えてくれている人への感謝	尊敬・感謝	2-(5)	あせのかがやき	光文	
	4	時と場をわきまえて	礼儀	2-(1)	あいさつの言葉	光村	
6	1	向上心と友情	友情・信頼・向上心	2-(3) 1-(6)	マラソン大会	モラルジレンマ	
	2	ものを大切に	思慮・反省・節度・節制	1-(1)	食べ残されたえびになみだ	学研	
	3	生命のかがやき	生命尊重	3-(1)	わたしの思い	学研	
	4	正義の実現	公正・公平・正義	4-(2)	はくしゅ	光文	
7	1	自然を大切に	自然愛・環境保全	3-(2)	花かげの花守りたち	学研	
	2	ありがたいと思う心	尊敬・感謝	2-(5)	新聞のスクラップ帳	学研	
9	1	柔軟な発想	創意・進取	1-(5)	まんがに命を	東書	
	2	あいさつ	礼儀	2-(1)	五目そばをおいしく食べたい	学研	
	3	思いやりの心	思いやり・親切	2-(2)	長い長い道	光村	
10	1	正しいと信じて	公正・公平・正義	4-(2)	わたしの一票	学研	
	2	見えない規律	自由・規律	4-(3)	移動教室の夜	学研	
	3	高い目標を立てて努力する	希望・勇気・不撓不屈	1-(2)	日本女性、エベレストに立つ	学研	○
	4	本当の国際理解とは	国際理解・親善	4-(8)	意見は言うものそれとも聞くもの	学研	
11	1	じぶん勝手な心	思慮・反省・節度・節制	1-(1)	くもの糸	学研	
	2	かけがえのない心	生命尊重	3-(1)	マザーテレサ	文溪	
	3	広い心で	寛容・謙虚	2-(4)	ひとふさのぶどう	学研	
	4	よりよい学校に	愛校心	4-(6)	きえた紙くず	学研	
12	1	友情とは何か	友情・信頼・助け合い	2-(3)	友達なんだから	光文	
	2	自由とはなにか	自由・規律	1-(3)	自由への道	光村	
	3	国を愛する心	郷土愛・愛国心	4-(7)	勝海舟	学研	
1	1	社会に役立つ喜び	勤労・奉仕	4-(4)	障害者の父 中村博士	学研	
	2	お年寄りへの尊敬	尊敬・感謝	2-(5)	わたしの友達アン	文溪	
	3	じぶんの心に誠実に	誠実・明朗	1-(4)	のりづけされた詩	学研	
2	1	大切な自然環境を守ろう	自然愛・環境保全	3-(2)	トトロの森を守ろう	学研	
	2	礼儀正しく	礼儀	2-(1)	待合室で出会った少女	文溪	
	3	社会に役立つ喜び	勤労・奉仕	4-(4)	オミヤゲ	光文	
3	1	にくしみをこえた美しい心	敬虔	3-(3)	青の洞門	学研	
	2	自分らしさ	向上心個性伸長	1-(6)	自分への手紙	東書	○

◎「論語」を位置づけた道徳の内容

主題名	指導内容	資料名
自分さえよければいいの	公正・公平・正義	4-(2) いじめられています
大切にしたい論語を考える。		
高い目標を立てて努力する	希望・勇気・不撓不屈	1-(2) 日本女性、エベレストに立つ
30 賢を見ては斉しからんことを思う		
自分らしさ	向上心個性伸長	1-(6) 自分への手紙
めざしたい論語を考える。		

## イ 授業の実際

### 第5学年1組 道徳学習指導案

1, 単元名 「どうする？」

2, 本時の指導

(1) 主題名 よりよい友だち関係を築こう

2-(3)

(2) 資料名 友だちだから「学研 みんなのどうとくー「なかまはずれ」 一部改作

(3) 主題設定の理由

#### ○ ねらいとする価値について

児童にとって、学級の友だちとどのような人間関係を築いていくかは、今後の人との関わり方の基盤となる。

日常生活の中で、友だちが誤った行動をしたとき、相手の気持ちを考えて正しいと思ったことを言えずに迷うことがある。そして、そのことを指摘できなかったために、本意でない行動をせざるを得なくなり、後悔をすることがある。また、友だちに嫌な思いをさせたくない、自分が友だちに嫌われたくないと思ったために、友だちにも正しい行動に気づく機会を失わせてしまうことがある。往々にして私たちは、その時の利害関係やさまざまな誘惑などによって行動や言動が左右されがちである。

真の友達であれば単に仲がよいだけでなく、相手の向上を願って厳しい忠告や励ましをかけあうことができなくてはならない。相手のことを大切に思い、お互いを磨き合って、高め合う中で友情はより深められていくと考える。

核家族化が進み、直接的な人間関係が希薄になっている現代社会において、人間関係を構築しようとする態度は、特に身につけさせておかななくてはならないものである。

#### ○ 児童の実態について

昨年度から、本学級の児童に理科や家庭課・図工・書写の指導を言っている。

1学期当初、本学級の児童は、物静かで穏やかな雰囲気を感じられた。大きなトラブルはないが、代わりに積極的に自ら友だちに関わろうとすることも少なかった。そこで、友だちと関わり合う場面を多く設け、話し合ったり、共同作業に取り組みせたりしてきた。

日常生活を見るとまだまだ表面的な付き合いが見られ、自己の利害や立場のみで自己主張するために、友だち関係は不安定な面が見られる。また、友だちが誤った行動をしたことを知っていても、それを隠そうとしたり、知らないふりをすることがある。その一方で、遊び友だちとしてだけでなく、もっと深いつながりを求め、互いに助け合おうとする仲間意識も芽生えつつある。常に行動を共にする仲のよい友だち関係も形成されつつあるので、この時期に「友情」について深く考えさせることは意義があると考えられる。

#### ○ 資料について

本資料は、学校からの帰り道、柿の実落としをしているクラスの友だちに、注意をしたのに自分も誘いののって柿の実落としに参加した仲のよい友だちである年夫から、「友だちなんだから一緒にしよう。」と誘われた明が、返答に困りうつむいてしまうが、年夫を親友と信じて「やっぱりよくないよ。」と注意し、明の真剣さに打たれた年夫とクラスの友だちは石を投げるのを止め謝るといった話である。

児童にとって、柿の実を取るという経験は少ないと思われるが、葛藤する二つの選択肢のどちらかを選択するという決断は、日常生活の中でもよく経験することである。迷った結果、友だちがとった行動や言動に対して注意をすることができず、黙認し、友だちのよくない行為に対しても同調することが友だちだと思ってしまうことも多い。

最初に友だちに注意をしたときの心情や、年夫から「いっしょにしよう。」と言われて、明がうつむいてしまったときの心情、その後の明の行動に迫っていくことで、友だちのことを考えあえて忠告することの大切さや本当の友情について考えさせていきたいと考え、資料の後半部分の改作を行った。この資料は、真の友情について考え、さらには、友情を深めていこうとする心情を育てるのに適していると考えられる。

#### ○ 指導の重点

「気づく段階」では、友だちがいてよかったと思った経験について話し合い、資料への関心を高めさせる。

「つかむ段階」では、場面絵と教材文により内容を把握させ、主人公明の置かれている立場と心情に迫らせていく。明の正義感と友だちに対する思いの狭間で葛藤を感じ取らせ、うつむいた後明はどうするか、「注意する」「注意しない」「どうするかまよう」の3つに分けて考えさせる。自分の考えをもたせてか

ら、それぞれの立場で話し合いを行う。安易に、「注意をする」という考えに偏ることも考えられるので、意見を出し合わせた後、涙を浮かべながら石投げを止めた明の気持ちを押さえ、本当の友だち関係や、友だちを思い勇気をもって信じる行動や言動をしようとするときの困難さに気づかせたい。

「みつめる段階」では、人としての生き方やあるべき姿が短い言葉で述べられており、児童が日頃から親しんでいる論語を提示し、今日の学習で学んだことと論語の教えをつなげて考えさせ道徳的实践力を図りたい。

「あたためる段階」では、これまでの友だちとの関係や自分の行動を振り返りながら、「友」の漢字を提示し、本時のねらいとの関係を示唆したい。

○ 他教科・他領域や日常指導などとの関連

学級経営全般で児童の実態を把握し、本資料を通して考えたことを日常の指導に生かすようにする。望ましいかかわり合いをした子ども、トラブルを乗り越えようと努力している姿など、高学年では、その全てを全体の前で賞賛した方がよいわけではない。子どもの性格や場面の状況に応じて、本人や友だち相互が前向きになれるような、きめ細かな支援を続けていく。

(4) ねらい

- ・ 真の友情とは何か考え、よりよい友だち関係を築こうという心情を育む。

(5) 本時の評価

- ・ 年夫に対する明の気持ちに共感することができたか。
- ・ 本当の友だちとは、友だちが嫌がることであっても、友だちのことを考え忠告する勇気をもつことが大切なのだと感じとれたか。

(6) 校内研に関わっての留意点

○学級経営上

- ・ 心を傾けて話を聞き、自分の考えを話す。・自分の考えを持つ。
- ・ 友だちの思いやよさを認め合う。

○学習規律

- ・ 時間を守る。 ・ 声の大きさを考えて話す。

(7) 研究主題「ひとみを輝かせ」の具体的姿

○うつつむいた後の明の気持ちと行動を考え、自分の考えを明らかにすることができる。

(8) 展開

過程	学習活動	教師の働きかけと評価	備考
気づく	1. 友だちがいてよかったと思った、これまでの経験を発表する。	○友だちがいてよかったと思ったことがあるか。それはどんなときかを考えさせる。	電子黒板
つかむ	2. 資料「友だちだから」の前半を読んで話し合う。 (1) 場面の様子を確認する。  (2) みんなが柿に石を投げているのを見たとき明たちはどんな気持ちだったか考える。 ・ いけないよ ・ だろぼうだよ ・ やめろよ	○明の気持ちに共感しながら読ませる。 ・ 登場人物の関係を確認させる。 明と年夫・・・親友 柿を投げている4・5人の子ども  ○電子黒板を使い、場面の様子を確認させる。 ○みんなが柿に石を投げているのを見たときの明たちの気持ちを考えさせる。 ・ 児童の感じた気持ちをできるだけ受け止め、発問につなげていく。 ・ 柿に石を投げる動作をさせることで、みんなの様子を見た時の明たちの気持ちをとらえさせる。	登場人物の絵  場面の絵

つかむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・でも楽しそうだな</li> <li>・二人だから注意がしやすいな</li> </ul> <p>(3) 年夫やみんながおもしろそうに石を投げているのを見ている時の明の気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さっきは一緒に注意したのに</li> <li>・年夫君楽しそうだな</li> <li>・やめるように言わなくては</li> <li>・どうしよう</li> </ul> <p>【あくしゅタイム】みんなであくしゅ</p>	<p>○年夫が夢中で石を投げているのを見ながら、明はどんなことを考えていたかを考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明は、誘われてもしてはいけないと考えていることを確認させる。</li> </ul>	
	<p>(4) 年夫に言われて、うつむいた後の明の行動を考え、自分の考えを発表する。自分の考えのところにネームプレートを置く。</p> <p>※注意する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やっぱりだめなことはだめだと言おう</li> <li>・友だちだから、注意しよう</li> <li>・人に見つかるかもしれないからだめだと言おう</li> <li>・言わないと後悔する</li> </ul> <p>※注意しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちだから文句をいったらかわいそうだ</li> <li>・年夫君に嫌われたくない</li> <li>・仲間はずれにされるかも</li> <li>・言わなくても、もうすぐやるだろう</li> </ul> <p>※迷っている</p>	<p>○「いっしょにしようよ。友だちだろ。」と年夫に言われて、迷った後、明はどうするかを考えさせる。</p> <div data-bbox="619 1193 1265 1458" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価</p> <p>A：明の行動をもとに、自分の考えを発表し、友だちの考えも認める発言ができる。</p> <p>B：明の構想をもとに、自分の考えを発表することができる。</p> <p>☆友だちの発表を聞いて、自分は、どの考えに近いかを書かせる。</p> </div>	プリント ネーム プレート
	<p>(5) 目に涙を浮かべて忠告している明の気持ちを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「注意する」と考えたときの気持ちとともに、「注意しない」と考えた時の気持ちも一方で持っていることをおさえる。</li> </ul>	
見つめる	<p>3, 今日の学習で学んだことは、どの論語とつながるかを考える。</p>	<p>○あらかじめ9つの論語を選んでおく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どれを選んでもまちがえてはいないことを伝える。</li> </ul>	論語 カルタ
あたためる	<p>4, 教師の説話を聞く</p>	<p>○友という漢字の成り立ちについて話し、本時のねらいとの関係を示唆する。</p>	「友」

## (2) 学校行事や特別活動等と論語との結びつき

### ア 校内論語カルタ大会

日頃からの論語の取り組みへの意欲を向上させると共に、その成果を異学年で協力し合い発揮する場として年に1度実施する。また年間を通してクラスの論語カルタ大会を実施する。



平成 22 年度校内論語カルタ大会



平成 23 年度校内論語カルタ大会

### イ 論語タイム

論語名人に挑戦する意欲をもたせると共に、暗唱や音読をすることにより言語力を向上させる。毎週月曜日、朝の時間に各学級で論語カルタの暗唱などに取り組んでいる。

### ウ 体育大会のスローガン



校舎に掲示した体育大会のスローガン



スローガンの下頑張る児童たち

体育大会のスローガンを代表委員会で決める時に、論語を取り入れる。それを活かしてみんなで大会を盛り上げている。平成 23 年度のスローガンは「排せずんば発せず一人一人がベストをつくし最後まであきらめずに戦いぬこう」に決定。

### エ 児童集会での取り組み

毎月の集会で生活の話をする際、めざす児童像「あくしゅの中部っ子」について触れ、論語を引用した話をする。

「あ」相手のことを思いやる子ども・・・「夫子の道は 忠恕のみ」

「く」くじけずにがんばる子・・・「排せずんば 発せず」

「し」自分で考える子ども・・・「思うて学ばざれば 即ち殆うし」

「ゆ」勇気を持って行動する子ども・・・「義を見て為ざるは 勇なきなり」

### オ 朝の会や帰りの会で

一日いくつかの論語をみんなで暗唱したり、日直が自分の大切にしている論語とその意味を唱えたりしている。

### カ 放送委員会での昼の放送での取り組み

以下のような内容を、給食の時間に放送している。



帰りの会で論語に挑戦する児童

①皆さん、給食を楽しくそして行儀よく食べることはできていますか。孔子様は『君子は食を終わるの間も仁に違ふことなし』と、おっしゃっています。私たち中部小学校の子どもは君子になるこ

- とをめざしています。皆さん、楽しくそして行儀よく給食を食べることをめざしましょう。」
- ②孔子様は、僕たちに勉強の仕方を教えてください。それは『学びて時に之を習う亦説ばしからずや』です。意味は、「学んで練習するとすっかり自分のものになってくるので、とても嬉しいです。この論語のように、真剣に授業で学び、さらに学んだことを宿題や自学で繰り返し勉強して、分かることを嬉しく思いたいです。」
- ③僕が中部小学校のみんなと一緒にめざしたいと思っている論語は「礼を知らざれば以て立つこと無きなり」です。意味は、礼を身につけなければひとり立ちはできません。礼儀正しい言葉遣いやあいさつをみんなですべて身につけて、一人一人が自立した立派な中部小学校になれたらいいなと思っています。
- ④私の好きな論語は『己の欲せざる所は 人に施すことなかれ』です。意味は、「自分がしてほしいことは、人にもやらない。人の身になって思いやりをする。」ということです。中部小のみんながこの論語を守って行動すればとても楽しい学校になると思います。もっと楽しく仲のよい中部小をめざしていきましょう。
- ⑤僕の大切にしたい論語は『過ちては則ち改むるに憚ることなかれ』です。意味は「過ちに気づいたらあっさりとおやまりなさい」です。僕はときどき失敗することがあります。そのときは素直にあやまろうと思っています。中部小のみんなもまちがったことがあれば素直に「ごめんなさい」「すみません」とあやまって、仲のいい学級や学校をめざしていきましょう。
- ⑥僕が気をつけたい論語は『その身を正しくすること能わずんば 人を正しくすること如何せん』です。意味は「自分の行いを正しくできなければ人を正そうとしてもしょうがない」です。僕はときどき自分でもできないのに友達を注意してしまふことがあります。そんなとき、言い合いになったりします。人を注意する前に自分も正しくしなければいけないと反省しています。
- ⑦僕が大切にしたい論語は『其の善かざる者にして 之を改む』です。意味は「よくない人を見たら、自分の反省材料にすればよい」です。中部小の皆さんには、よくない人のマネをしないで、いい人のマネをする人になってほしいです。そして、楽しくやる気のある中部小学校にしていきましょう。
- ⑧僕がこれから目標にしたい論語は「賢を見ては 斉しからんことを思う」です。意味は「かしこい人、すばらしい人を見ると、自分もああいうふうになりたいと思う」です。6年1組には勉強やお手伝いを頑張っている人がいます。その人達を見て、僕も頑張ろうと思うようになりました。
- ⑨「来者の今に如かざるを知らんや」の論語の意味を知っていますか。それは「若い者は努力すれば将来は、今の人以上に立派な人になるであろう」です。将来をよくするためにも、僕たちが努力をしていきたいと思っています。「排せずんば 発せず」の気持ちをもってねばり強く頑張っていきたいです。
- ⑩『益者三友 損者三友』という論語を覚えていますか。意味は「よい友として三つあるそんな友も三つある」です。よい友とは「正直な友」「誠実な友」「物知りの友」です。損になる友は「ずるい友」「口先だけの友」「反対しない友」です。僕は学級の友達にとって、よい友になれるよう努力していきたいです。そして少しでも君子に近づきたいです。など

キ 「人権の木」の取り組み

児童に「恕の心」を更に持ってもらうと児童玄関前に「人権の木」を育てている。日頃の優しさや思いやりを児童に目で見える形（人権の花や葉）で表して優しい言葉でいっぱいになっている。



人権の木・恕の心



論語名人に挑戦する児童



### (3) 論語を覚える取り組み

#### ア 論語名人への道

上の句を聞いて下の句を答える。100首全部覚えた児童を『1級（達人）』に認定する。

下の句を聞いて上の句を答える。100首答えた児童を『名人』に認定する。達人・名人合格者には「論語達人バッジ」, 「論語名人バッジ」を与え, 名前を職員室横に掲示して励みとする。

#### イ 論語朗唱

論語カルタの句の含まれている16の論語を覚えた児童を『朗唱名人』に認定する。

#### ウ 論語検定試験への取り組み

(平成23年10月25日)

湯島聖堂「漢文検定試験」初級(論語・漢詩)に5, 6生が挑戦し, 全員が合格。検定に向けてクラスで練習し, 校内で模擬試験を実施。試験当日は, 激励会で児童代表が宣誓して臨む。



検定試験に臨む児童

### (4) その他：日々の生活の中に位置づけた取り組み

#### ア くつならベコンクール

「賢を見ては斉しからんことを思う」「履き物が揃うと心が揃う」を合い言葉に児童は, 毎日靴箱の靴や傘を揃えることに心がけている。その取り組みをみんなが高め合うことを目的に, 毎月くつならベコンクールを実施。

#### イ 生活指導の中で

日々の学校生活の中で子どもを誉めたり注意したりする際, 論語の言葉を格言やことわざのように引用しその意味と共に心に残るように指導している。「排せずんば発せず」「苗にして秀いでざる者あり」「力足らざる者は中道にして廃す」「己の欲せざる所は人に施す勿れ」

#### ウ 学級通信や学年通信の題名に

クラスや学年への担任の願いやめざしたい児童像を論語から取り題名としている。「来者の今に如かざるを知らんや」「賢を見ては斉しからんことを思う」「夫子の道は忠恕のみ」

#### エ 国語や図工で

児童が好きな論語を試写したり, 毛筆で書いたりする。論語の彫刻板。腰鼓の紙人形づくり。

### (5) 校内掲示の整備

論語カルタや論語を廊下や掲示板に掲示し, 日常的に論語に触れる環境を作る。

例えば, 「論語カルタ通り」や「丹邱の里さんぼ道」などの論語や多久町の歴史や風土を自然と学べる掲示。「論語ひめくりこよみ」や卒業制作の論語板, 「丹邱の庭」の論語板など論語そのものを, 生活に活かす掲示。児童玄関の門柱やついたて, 廊下の壁などの掲示など。これらに日常的に触れることで児童がめざす生活の指針としている。



「丹邱の里さんぼ道」

## 5 研究のまとめ

### (1) 成果

- ア 本校の児童は、環境により論語に日常的にふれる機会が多い。論語カルタの上の句を言えば即座に下の句がいえるようにどの児童も論語に慣れ親しんでいる。暗唱やカルタ大会が好きで、アンケートでも全校児童の8割が論語カルタや腰鼓を頑張っていると答えている。「論語名人」へも意欲的に取り組み、多数の児童が業間休みや昼休みに名人を目指して検定を受けに来ている。
- イ 教職員の論語への興味が高まり、教材の研究や学校生活での活用を意識するようになった。また、保護者は学校の論語への取り組みを評価し、アンケートによると保護者の8割以上が学校は「子どもの思いやりや気持ちを育てている」「あいさつや言葉遣いの指導に取り組んでいる」としている。
- ウ 道徳の授業の中で論語の言葉を取り入れることで、児童が道徳の内容項目を論語の言葉として取り入れ、道徳的心情を育て道徳的实践につなげやすくなっている。児童自身がめざす姿を論語の言葉に置き換えて考えられるようになってきた。
- エ 道徳の授業の中で道徳的価値と結びついた論語の言葉が、日常生活の中で活かされやすく生活の規範として役立っている。また、論語の美しい言葉や響きが児童の体にしみこむことで自らを律し、まとまりのある学校集団を作っている。
- オ 本校の児童は、道徳や学校生活の中で論語に慣れ親しみ、論語の意味を理解してきた。また、論語の言葉を大切にし、論語を考えや行動の手本としていくことに心がけてきている。日常的な生活指導の継続と合わせ、そこに論語を活かすことで、落ち着いた学校生活を送っている。全校児童の8割が誰とでも仲良く過ごせ、きまりをきちんと守ることを意識した生活を送っている。また9割以上の児童が毎日靴をきちんとそろえることができている。これは論語の言葉が、正しい行いの手本として少しずつ身につけてきていると考えられる。
- カ 論語に親しむことで釈菜や聖廟との関わりを強め、本校の児童は全体の9割が地域の行事や活動に進んで参加している。昨年度の博報賞受賞の大きな要因にもなった。本年度は「高取伊好翁立像復元除幕式」にも本校児童や卒業生の参加を得た。論語への取り組みは郷土、多久のよさを知り、大切にしていこう気持ちを育てている。



児童靴箱

### (2) 今後の課題

- ア 道徳副読本の資料と論語のつながった教材の発掘を行う。今後更に年間計画の中に、どの資料でどの論語を活用するか指導内容を踏まえてきちんと位置づける。
- イ 論語に関わる教材の開発。特に多久の5賢人と呼ばれる人たちの生き方と論語の関わりをつなげ、多久の賢人と論語を児童の身近なものにしていくと共に多久学における論語活用のあり方の検討をより一層すすめる。
- ウ 朝の論語タイムの活用法を検討し、児童が論語に更に親しみ生活の中で活かしていけるように校内環境の整備をより一層進めていきたい。掲示物はもちろんのことだが、例えば「私の好きな論語コンテスト」「親がわが子にすすめたい論語紹介」など。児童や保護者との論語の関わりを深める。